

平成26年度 うるま市景観まちづくり

やんばる集落・景観視察 かわら版

※この「かわら版」は、浜比嘉島地区の景観まちづくりの取り組みについて、情報の共有や共通理解を図るために作成したものであり、全世帯に配布いたします。

やんばる集落・景観視察は、区の呼びかけのもと以下の日時で行いました。

◎日 時：平成26年9月27日(土) 9:00~15:30

◎集合場所：浜比嘉大橋たもとの広場(浜漁港緑地公園)

やんばる集落・景観視察は、浜区、比嘉区の住民および集落景観に関心ある方を対象に、以下の目的・ねらいで行いました。また、帰路のバスの中で「チェックリスト」に記入し提出してもらいました。

①集落景観を守りながら、地域の活性化に取り組んでいる現状を学ぶ

②協働の景観まちづくりの工夫を学ぶ。

浜比嘉住民26人と事務局あわせて39人が参加しました。以下はその概要です。

視察の様子

今泊集落



今泊集落では今帰仁グスクを学ぶ会の皆さんと今泊区長、今帰仁村建設課の職員が案内してくださいました。



今泊公民館前の神アサギ。今泊には旧今帰仁ムラと旧親泊ムラの2つの神アサギがありました。



今泊集落では集落道の景観形成のためにチニブを編んで立てかけていました。道はコーラル舗装でした。



備瀬集落



備瀬集落では備瀬区長と本部町建設課の職員が案内してくださいました。



フクギの屋敷林が見事な集落でした。通行の邪魔になる枝葉のみを剪定しているとのことでした。



集落を巡る観光水牛車やレンタルサイクルが見られました。



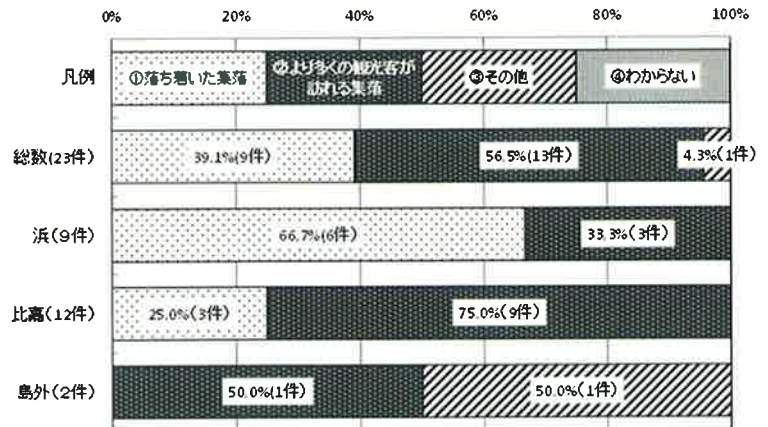
さすがに歩き疲れました。集落内はほとんどが砂の道でした。

チェックリスト結果の概要

回答者総数:23 人(浜区 9 人 比嘉区 12 人 島外 2 人)

問1 お住まいの集落の将来の姿は、どのようなイメージが望ましいと思いますか？

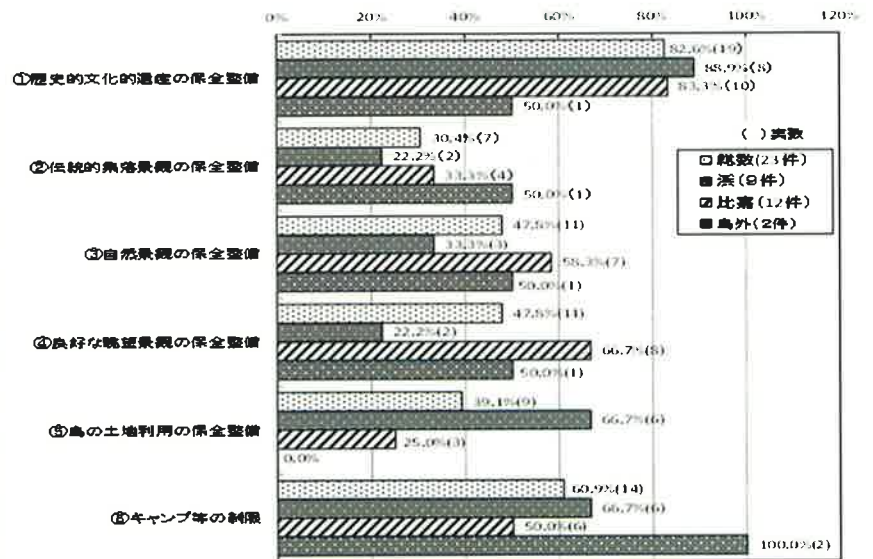
- 全体では「より多くの観光客が訪れる集落」が 56.5%と過半数を占め、賑わいや活性化を中心に進めたいと思っている。
- 地区別にみると将来のイメージは 2 つに分かれる。浜区では 66.7%が「落ち着いた集落」を選択し、比嘉区では 75.0%が賑わいや活性化を中心に進めたいと思っている。



問2 望ましい姿を実現するために、特に大切なことはなんですか？

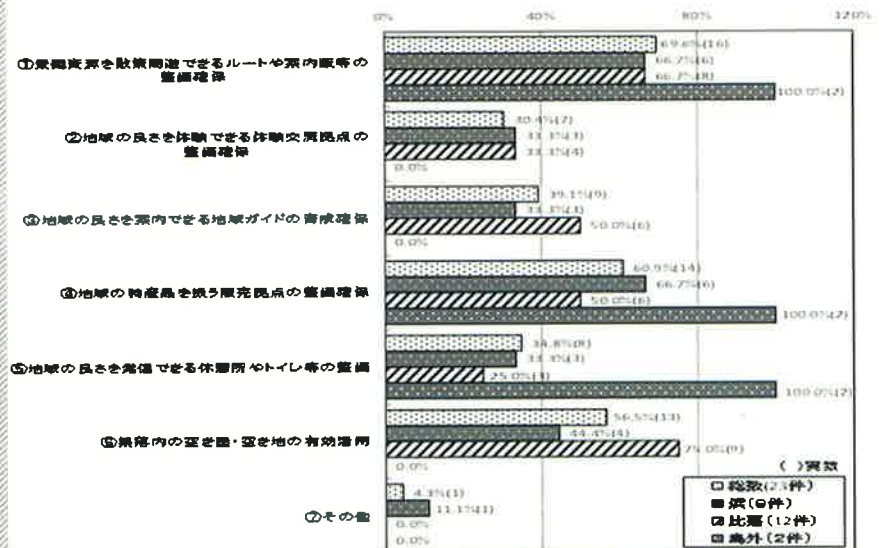
2-1 保全整備の面

- 全体でみると、地区の御嶽・拝所、ムラガー、まつりの道などの「歴史的文化的遺産の保全整備」が 82.6%で最多。地区別に見ても、この選択肢が浜区で 88.9%、比嘉区でも 83.3%と圧倒的多数に支持されていることから、概ね島の総意と考えられる。
- 地区別の特徴としては、浜区で次に続くのが「島の土地利用の保全整備(集落域、農地域など)」と「キャンプ等の制限(ルールづくり、ごみの持ち帰りの徹底など)」が 66.7%となっているのに対して、比嘉区では、「良好な眺望景観の保全整備」66.7%、「自然景観の保全整備」58.3%と続いている。



2-2 創出整備の面

- 全体では「景観資源を散策周遊できるルートや案内板等の整備確保」が 69.6%と 1 位を占めた。
- 地区別に見ると、浜区では「地域の特産品を扱う販売拠点の整備確保」が 66.7%と 1 位と同順であり、「集落内の空き家・空き地の有効活用」が 44.4%と続いている。
- これに対して比嘉区では、「集落内の空き家・空き地の有効活用」が 75.0%と 1 位であり、次に「景観資源を散策周遊できるルートや案内板等の整備確保」が 66.7%、さらに「地域の良さを案内できる地域ガイドの育成確保」と「地域の特産品を扱う販売拠点の整備確保」が同じ 50.0%と続いている。



次の予定

◎景観まちづくりワークショップ

【浜 区】日時：平成 26 年 11 月 19 日(水) 19:00~21:00

【比嘉区】日時：平成 26 年 11 月 20 日(木) 19:00~21:00

◎場所は各区公民館です。両区への参加も歓迎します。